

< 核兵器廃絶を求める1000万署名 >

国際連合事務総長
コフィ・アナン 様

日本国内閣総理大臣
小泉 純一郎 様

ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ。この訴えは、核兵器廃絶と恒久平和を願う私たち被爆国民の心からの叫びです。

しかし核兵器は未だに世界中に約3万発も存在しています。対テロを理由とした米口の「使える核兵器」への核戦略の転換や臨界前核実験の強行、北朝鮮の核兵器開発、イスラエル、インド、パキスタンの核兵器保有、核兵器の闇市場への流出など核兵器の強化、拡散の動きが顕著になり、緊張と恐怖を拡大させています。私たちはこうした動きを絶対に認めることはできません。2005年春、国連においてNPT（核不拡散条約）の再検討会議が開催されます。2000年の再検討会議では、核兵器廃絶に向けて、「核兵器保有国が核兵器廃絶をする明確な約束」など13項目とプラス2項目の合意が行われました。

2005年のNPT再検討会議を焦点に、核兵器廃絶をめざしての世界的な規模で運動が拡大しています。ヒロシマ、ナガサキの市長を先頭とする平和市長会議も2020年に核兵器の全廃をめざすとする「2020年プラン」を掲げて取り組みを開始しています。

私たちは、核兵器廃絶と恒久平和をめざして日本政府と国連に対して次のことを要請します。

NPT条約・2000年再検討会議合意を実行し、核兵器廃絶を実現すること

平和市長会議2020年プランを支持し、実現すること

| 名 前 | 住 所 |
|-----|-----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

年 月 日
<呼びかけ団体> 連 合 ・ 原 水 禁 ・ 核 禁 会 議
<取り扱い団体>